



**今月の見どころ**

- 1面 ● 中小企業白書(後編)  
● ものづくり補助金2次締切採択企業が決定!
- 2面 ● 施策情報
- 3面 ● 景況情報・オピニオン
- 4・5面 ● 活動あれこれ
- 6・7面 ● 学生企業レポート
- 8面 ● 大学生がインターンシップの体験を報告

**9月の出来事**

- 時事
  - デング熱感染、拡がる
  - 御嶽山噴火
- 山梨県中央会ニュース
  - 3日…組合青年部代表者会議
  - 29日…ものづくり2次公募企業採択発表

**10月の予定**

- 10日…事務連絡協議会視察研修
- 18日…第45回中小企業団体親睦ゴルフコンペ
- 23日…第66回中小企業団体全国大会
- 29日…第18回郡内地域組合交流会  
第7回正副会長会議

発行所 山梨県中小企業団体中央会  
甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215・FAX (237)3216  
http://www.chukai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chukai-yamanashi.or.jp

定価100円  
昭和36年4月10日 第三種郵便物認可  
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

「中小企業白書2014」を読む — 後編 —

# 今後の中小・小規模事業者の支援の在り方

中小企業庁が公表した2014年版の中小企業白書の概要について、先月に続いて解説します。  
(詳しい内容が知りたい方は、中小企業庁ホームページ<http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/> をご覧ください。)

## IV. 中小企業・小規模事業者の支援の在り方

### 4・1 中小・小規模事業者支援の現状と今後の課題

我が国の385万の中小・小規模企業に施策を着実に届けていくためには、国・都道府県・市区町村の連携が不可欠であるが、現状ではうまくいっていない。  
一方、自治体によってはそれぞれの役割分担を踏まえて、①ホップステップ型、②棲み分け型、③一体支援型などの形で具体的な連携の成果が上がっている事例も出ている。  
こうした連携による支援強化を促進するために、利用できる施策を検索できる「施策マップ」を構築し、自治体による積極的な活用を働きかけていくこととする。

### 4・2 中小・小規模事業者施策の認知度、活用状況、評価

- ① 施策マップの構築  
中小・小規模事業者が施策を利用しやすくなるために、国・都道府県・市区町村の施策を目的や分野、必要金額等に応じて分類整理し、インターネットを通じて簡単に検索ができ比較や一覧ができるシステムとして「施策マップ」を構築する。  
この「施策マップ」は中小企業庁の施策のみならず、総務省、厚生労働省、農林水産省、観光庁など他省庁の中小企業向け施策も網羅し、「価格.com」のように比較ができものとする計画である。
- ② 支援機関の連携  
385万者の中小・小規模事業者を支援していくため

- に、行政に加えて認定支援機関をはじめとする中小企業支援機関の役割も重要であることから、多様な支援ニーズに対応できるように支援機関同士が十分な連携をとった支援がとれるかが課題である。
- ③ 連携事例  
全国の自治体の中には、中小企業支援機関が連携して中小企業からの経営相談にワンストップで対応する効果的な支援体制を構築している事例もある。  
地域金融機関が、税理士を税・法務関係の専門家にして実現可能性の高い経営改善計画の策定を可能とした事例もある。
- ④ よろず支援拠点の設置  
中小・小規模事業者に対する支援体制を強化するため、本年6月に全国47都道府県に「よろず支援拠点」を設置した。  
この拠点は、①既存の支援機関では十分に解決できない経営相談に対する「総合的・先進的経営アドバイス」②事業者の課題に応じた適切な「チームの編成を通じた支援」③「的確な支援機関等の紹介」(ワンストップサービス)などの実施を目的としている。  
また、関係省庁や自治体、公的支援機関等の施策をどのように使うべきか、相談者に応じた適切なアドバイスを与えることも目的とする。
- ⑤ 今後の政策広報の在り方  
中小・小規模事業者の約5~6割が国の中小企業

施策情報の入手先は不明確とし、約5割は実際に施策情報を入手していない。また、実際に施策の活用まで至るのは約1割に過ぎないという状況にある。一方、施策を活用した者の約7割からは評価を受けている。  
国の中小企業施策情報の入手先としては、支援機関や市区町村への期待が高いことから、今後、都道府県、市区町村、支援機関向けの施策説明会を積極的に展開していく。  
国の中小企業施策情報は、「情報量は少ない」が約4割、「タイミングがタイムリーでない」が約5割、「わかりにくい」が約5割となっているため、「施策マップ」やメルマガでの情報提供を充実させるとともに、施策の企画立案者による施策情報を中小企業庁のポータルサイト「ミラサポ」上で提供していく。

4・3 地域産業構造分析システムとコネクターハブ企業  
民間調査会社が保有する膨大な企業間取引データを活用し、地域経済における産業構造の実態を空間的かつ時系列的に把握し、国・地方自治体による地域産業政策や地域活性化政策の立案を支援するための「地域産業構造分析システム」を開発する。  
地域外から資金を調達し、地域経済域内に配分している企業を「コネクターハブ企業(地域中核企業)」と位置づけ、「地域産業構造分析システム」によりコネクターハブ企業を抽出し、国や地方自治体等からの効果的な政策資源投入につなげていく。

# 中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業補助金

**二次公募、本県では26件が採択**

中小企業・小規模事業者ものづくり・商業・サービス革新事業(以下、「ものづくり補助金」といふ)は、平成25年1月に閣議決定された「日本経済再生に向けた緊急経済対策」の実行のため、平成24、25年度の補正予算で実施されてきた。

今回9月29日に平成25年度補正予算による二次公募の審査が行われ、本県では26件が採択された。(採択事業の詳細は<http://chukai-yamanashi.or.jp/mono/kyu>をご覧ください。)

今回採択された事業者は、補助金交付申請を経て平成27年9月末まで、それぞれの事業に取り組んでいくことになる。

ものづくり補助金の採択企業は、平成24年度補正予算の一次公募で41件、二次公募で32件、合計73件が採択された。さらに平成25年度補正予算分の一次公募で46件が採択されており、今回の二次公募の採択と合わせると平成25年度として72件が採択され、平成24年度と平成25年度の補正予算分を合わせると145件になる。

ものづくり補助金事業も2年目に入り、これまで補助金を活用して新製品や新技術の開発に取り組んで来た各社の取り組み成果も実り始めている。

「ものづくり」は戦後の我が国の経済成長と国際競争力の強化の牽引役してきた。その中で中小企業・小規模事業者が果たしてきた役割は大きい。今後も我が国の経済力を維持していくためにも、製造業を支えるものづくり産業基盤の底上げと競争力強化を支援が必要となっており、今回のものづくり補助金に寄せる期待は大きい。

中央会では、ものづくり補助事業の成果を広く県内外の企業に知ってもらう事業化に繋げることを目的として、11月13日(木)から15日(土)甲府市大津町のアイメッセ山梨で開催される「山梨テクノロジーICTメッセ2014」で成果発表を兼ねた展示を行う予定となっている。

# 平成27年度の中小企業・小規模事業者政策の概要

経済産業省から平成27年度の経済産業政策の重点と概算要求・税制改正要望が公表されました。その中から、中小企業・小規模事業者に関連のある政策について紹介します。今後、国が力を入れる政策を確認して、今後の事業展開や経営方針を決める際の参考にしてください。

## 1. 地域の中小企業・小規模事業者の活性化

### (1) 「地域資源」の活用、地域人材の育成等

- ふるさと名物応援事業  
【23.0億円(新規)】  
中小企業・小規模事業者による「ふるさと名物」の開発、販路開拓、マーケティング、地域ブランド化等、地域全体の付加価値向上に向けた取組を支援。
  - 小規模事業者対策推進事業  
【68.1億円の内数(拡充)】  
地域における「ふるさと名物」の消費を促すため、新たに商工会・商工会議所が「ふるさと名物応援券」を発行する際に、応援券のプレミアム分を支援。
  - 中小企業・小規模事業者人材対策事業  
【20.0億円(新規)】  
地域の中小企業・小規模事業者に対し、子育て等により離職した女性をはじめとして、若者、シニアなど多様な人材の発掘・紹介・定着を一貫支援するとともに、都市部において人材の発掘・紹介を行う地域人材バンク拠点(仮称)を新たに整備。
  - 中小企業・小規模事業者海外展開戦略支援事業  
【25.0億円(拡充)】  
海外専門家派遣による商品開発やF/S調査、海外展示会出展支援、「海外現地支援プラットフォーム」の設置などの一貫支援。加えて、海外進出後の経営改善のため事業再編の支援を実施。
  - 中小企業者等に係る法人税の軽減税率の引下げ
- ### (2) 地域活性化に向けた商店街の積極活用
- 地域商業自立促進事業  
【25.0億円(継続)】  
商店街におけるインキュベーション施設整備、専門家派遣、空き店舗への店舗誘致、店舗集約化等の新陳代謝を促す取組を支援。
  - 商業・サービス業・農林水産業活性化税制の延長

## 2. 小規模事業者支援策の強化

### (1) 小規模事業者を支援

- 小規模事業者対策推進事業  
【68.1億円(拡充)】(再掲)  
経営発達支援計画の認定を受けた商工会・商工会議所の事業者支援、商工会・商工会議所と一体となって取り組む販路開拓支援、経営指導の運営支援を実施(26年度当初18.8億円から大幅増)。
- 小規模事業者等人材・支援人材育成事業  
【5.2億円(拡充)】  
中核人材育成に向けたインターンシップなどの実践的な研修、商工会・商工会議所の経営指導員の研修を実施。
- 小規模事業者経営改善資金融資事業  
【40.0億円(継続)】  
日本政策金融公庫が小規模事業者向けに無担保・無保証人・低利で融資を行う際、金利差分の補給金を交付。

### (2) 経営支援を強化

- 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業  
【34.0億円(継続)】  
コーディネーターを中心に、地域の支援機関等と連携しながら、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題を分析し、課題解決に最適な手法を選択して支援を行う拠点(よろず支援拠点)を47都道府県に整備。また、専門的な経営課題の相談に対応するため、専門家派遣を実施。
- 中小企業・小規模事業者情報プラットフォーム活用支援事業  
【9.0億円(新規)】  
支援ポータルサイト「ミラサポ」の運営に加え、大企業側のニーズを、革新的技術等を持つ中小企業等に提示する「逆見本市」を新たに実施。

## 3. 中小企業・小規模事業者のイノベーション推進

- 革新的ものづくり産業創出連携促進事業  
【112.0億円(新規)】  
特定ものづくり基盤技術を「デザイン」分野に広げ、中小企業・小規模事業者が産学官連携して行う製品の付加価値を高める技術開発の支援に加え、地域の中核企業等との連携による販路構築や、商品化・事業化ニーズを起点とする研究開発計画策定等を新たに支援。
- 商業・サービス競争力強化連携支援事業  
【9.9億円(新規)】  
「サービス高度化ガイドライン(仮称)」に沿って行う、又は産業競争力強化法における企業実証特例制度、グレーゾーン解消制度を活用して行う、サービスモデルの開発等を新たに支援。
- 企業取引情報等に基づく地域活性化事業  
【2.2億円(新規)】  
「地域産業構造分析システム」の運営を通じた地域の中核企業の発掘。

## 4. 創業・第二創業等へのきめ細かな支援

### (1) 創業支援

- 地域創業促進支援委託事業  
【5.0億円(継続)】  
創業者向けや女性起業家向けの創業スクールに加え、新たに大学におけるモデル的な起業家教育講座や起業家との交流による小中学校向けの起業家教育の取組を支援。
- 中小企業・小規模事業者経営力強化融資・保証事業  
【11.0億円(継続)】  
中小企業・小規模事業者の経営力強化を図るための、認定支援機関による事業計画の策定支援等を前提とした低利融資・保証制度。女性・若者・シニアによる創業等に対して金利を引き下げ。
- 新創業融資制度【財投(拡充)】  
創業後2年以内の事業者に対する融資制度について、産業競争力強化法に基づく「特定創業支援事業」を受

- けた場合などに自己資金要件を撤廃。
- 再挑戦支援資金【財投(拡充)】  
再挑戦する起業家に対する融資制度。女性等に対しては金利を引き下げ。
- (2) 第二創業支援  
○創業・第二創業促進補助金  
【25.0億円(新規)】  
創業者(女性・NPO含む)に対する創業費用の補助に加え、新分野に挑戦する第二創業者に対し、新たに撤去費用等の廃業コストも支援。
- (3) 新陳代謝の促進  
○中小企業再生支援協議会事業  
【46.0億円(拡充)の内数】  
「事業引継ぎ支援センター」の機能強化及び後継者不在企業と創業希望者をマッチングする「後継者バンク」の全国展開を実施。
- 地域課題解決ビジネス普及事業  
【2.0億円(新規)】  
介護、保育などの地域が抱える課題をビジネスの手法により解決する中小企業・NPO等の取組を支援。
- 地域の事業・雇用を担うNPO法人への信用保証制度の拡大
- 事業承継に係る贈与税の納税猶予制度の拡充
- 個人事業者の事業用資産に係る軽減措置の創設
- 小規模企業共済制度の見直し

## 5. 消費税転嫁対策等

### (1) 消費税転嫁対策

- 消費税転嫁対策窓口相談等事業  
【15.0億円(新規)】  
消費税の円滑な転嫁のため、専門家派遣、講習会の開催、相談窓口の設置、パンフレットの作成等を支援。
- 消費税転嫁状況監視・検査体制強化等事業  
【46.3億円(継続)】  
消費税の円滑な転嫁のため、時限的に転嫁対策調査官(転嫁Gメン)を措置(474名)し、悉皆の書面調査を実施。

### (2) 事業再生支援強化、資金繰り支援

- 中小企業再生支援協議会事業  
【46.0億円(拡充)の内数】  
各都道府県の中小企業再生支援協議会において事業再生支援を実施。
- 事業計画策定・実行支援事業  
【15.0億円(新規)】  
認定支援機関等が事業計画の策定・実行を支援することで、アイデア・技術等を有する事業者の資金繰り円滑化と新事業展開等を促進。
- きめ細かな資金繰り支援  
【236.8億円(継続)】  
政策金融・信用保証制度による資金繰り支援を実施。

○…概算要求 ●…税制改正要望等

## 「働き手」への正当な評価がある社会へ

いま、急激な勢いで「働き手」が減っている。これは、有効求人倍率の話ではない。バスやトラックのドライバー、重機やNCマシンのオペレーター、自動車整備士……など様々な職種で若者の就業者が極端に少なくなっている。資格者や技能者の高齢化が進んでいる。近い将来、現業を担う働き手が確保できず、業務縮小や廃業に直面する企業も出てくるかもしれない。

例えば、現在県内では工業系高校は3校に減ってしまった。自動車整備士を養成していた学科はなくなってしまう。職業学科への入学希望者が減ったことが高校や学科の再編や統合につながったのだが、希望する学校や学びたい学科がなくなってしまう。わずかに残った入学希望者も技術を身に付けることも仕事として選ぶこともできなくなり、「働き手」の減少に一層拍車がかかる。

これまで日本は3K・5Kと呼んで単純労働を避けるような風潮があり、人手不足の一部を「派遣」や「外国人実習生」といった手段で一部しのいできた。しかし、ここに来て、免許や資格や技能を必要とする職種にまで人手不足が顕著になってきている。

書類やパソコンを相手にデスクワークする人、お客相手に笑顔でセールスをする人たちだけで経済社会は成り立っているわけではない。身体を動かして汗をかく仕事を受け持つ人も社会にはなくてはならない。

どのような職業も社会には必要とされているという「職業に貴賤なし」の言葉があるが、現実には賃金や職業威信に厳然たる差が存在しているのも事実である。

ドイツのマイスター制度のように、あらゆる職種の人が正当に評価され十分な報酬とやり甲斐が得られる労働観を共有できる健全な社会の実現を、労働人口が減少する中、今こそ目指していかなければならない。



# 業界の動き

## 平成26年 8月分

データから見た

### 情報連絡員からの景況報告の概要

情報連絡員による県内の8月の業況報告は、消費税率引き上げに伴う影響からは脱した感がある。

しかし、原材料や燃料の高騰等による生産コストのアップにより利益確保が難しく先行きを不安視している。

製造業は、稼働日数が少なかったにもかかわらず、昨年に比べ売上が増加した報告が目立った。

非製造業では、山梨県内で開催された南関東高校総体等のイベントやNHK朝のドラマの影響による観光客等の増加が宿泊業を中心に地域経済の活性化への後押しとなった。

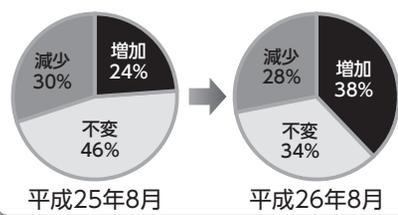
しかし、自動車や家電等の耐久消費財は消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動減が未だ続いている。

今後は、消費税率引き上げや物価の上昇等により低下した消費者マインドの向上や企業の設備投資が景気回復への鍵になると思われるが、特に、建設や工事業界において専門職等の不足による受注見送りや人件費の増加が足かせとなり収益改善が遅延することが懸念される。



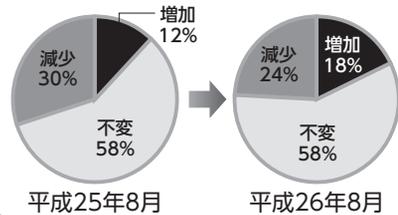
データから見た業界の動き (平成26年8月分)

### 売上高 (前年同月比)



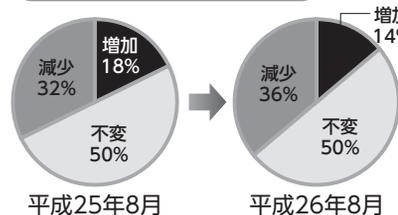
- DI値 10 (前年同月比+14)
- 業種別DI値
  - 製造業 +10 (前年同月比+40)
  - 非製造業 +10 (前年同月比±0)
- 前月比DI値
  - 製造業 5ポイント悪化
  - 非製造業 7ポイント改善

### 収益状況 (前年同月比)



- DI値 ▲6 (前年同月比+12)
- 業種別DI値
  - 製造業 ▲5 (前年同月比+25)
  - 非製造業 ▲7 (前年同月比+3)
- 前月比DI値
  - 製造業 5ポイント改善
  - 非製造業 3ポイント改善

### 景況感 (前年同月比)



- DI値 ▲22 (前年同月比+8)
- 業種別DI値
  - 製造業 ▲25 (前年同月比+5)
  - 非製造業 ▲20 (前年同月比▲17)
- 前月比DI値
  - 製造業 15ポイント悪化
  - 非製造業 13ポイント悪化

### 業界からの報告

#### 製造業

●食料品(水産物加工)／ギフト関係は不調だったが、レストラン、ホテル向けの生鮮食材が好調。売上は前年同月比104%。

●食料品(洋菓子製造)／天候不順により水菓子や自社製品、OEMともに不振。売上は前年同月比91%と大幅に減少。

●食料品(製麺)／対前年比売上が増加傾向(受注増加)。

●食料品(菓子)／稼働日が昨年と比較し増加。売上は前年同月比10%増加したが、収益状況は前年並み。

●繊維・同製品(織物)／裏地の生産が1割減少。

●木材・木製品製造／前年に比べ仕事量は減るが、個人の新興住宅の需要が減少。印刷／各社とも印刷機械が稼働しない時間が増加。業種・土石(山砕石)／補正予算や新年度工事発注により前年同月対比107%。しかし、諸資材の高騰により、利益率は下降傾向にある。

り、設備投資が出来ない状況。

●鉄鋼(金属)／前年より回復傾向にあるが、仕事量は少ない。

●電気機器／短納期での受注が急増のため、諸経費がかさみ収益は減少。

●その他(宝飾)／組合員企業の格差が拡大。

●卸売(塗料)／原油値上がりにより材料が値上がりし、在庫調整をせざるを得ない状況にある。

●卸売(紙製品)／消費税増税後は古紙の発生が落ちこみ、業況は良くない。

●卸売(宝飾)／消費者マインドの低下が著しい。  
●小売(青果)／気温の上昇と降雨により野菜の生育が不良となり、入荷量が減少し価格が暴騰。  
●小売(食肉)／焼き肉用の需要が堅調。しかし、仕入れ価格が高騰しているため利益確保が困難。  
●小売(水産物)／前月に比べ8月の売上は多少改善したものの、10%の前年割。

●小売(自動車)／未だ消費税増税の影響がある。

●小売(電機製品)／業界全体で大幅減。未だ消費税増税の影響がある。

●小売(石油)／猛暑と台風の影響もありガソリンの需要は減少。県内のガソリンスタンドは経営が圧迫。

●商店街(1)／猛暑、台風等の天候不順のため、来街者は減少。また、生活必需品等以外のものは買い控え傾向。

●商店街(2)／NHKの朝ドラの影響で観光客が増加し飲食店中心に売上が増加。

●商店街(3)／富士山世界文化遺産、リニア見学等、大月駅周辺の賑わいが目につくが、商店街への来街には結びついていない。

●不動産取引／中古マンションや昭和町内の不動産の問い合わせが増加。また、甲府市以外の農地の売り物件が増加。  
●宿泊業(1)／高校総体やブラスタンドの大会等の大きな

備事が重なり売上が増加。美容業／低料金店舗等の売上は減少傾向。

●警備業／イベント警備は、警察の安全対策に対する指導が厳しくなり警備員の短期需要が増加。しかし、警備員の募集しても集まらないため、人手不足から断る業務もでてきている。

●建設業(総合)／前払金保証から見た県内公共工事の動向では、受注件数、請負金額ともに減少に転じてきている状況。

●建設業(型枠)／年末にかけ仕事の件数に減少傾向。職人が不足し大幅に建築工程の遅れが目立っている。近県からの応援を依頼している企業も多く、断らなくてはならない仕事も増加。元請けのゼネコンも工期の延長等に苦慮している。

●建設業(鉄構)／県内の公共工事は少ないが民間物件は多少増加傾向。技能工の不足や運送用トラックの不足に加え燃料費の高騰も加わった経費増のため利益確保が困難。

●設備工事(電気工事)／設備投資に係わる工場等の新規見積等が二時期に比べ増加傾向。公共工事関係は、民間に比べ増加傾向。

●設備工事(管設備)／住宅建築工事等の民間需要が回復しないため、売上高は減少傾向。消費税率引き上げ前の駆け込み需要の反動が残っている。  
●運輸(タクシー)／南関東高校総体等があり利用者の増加に伴い売上は増加したが、燃料の高騰等により売上は昨年並。  
●運輸(バス)／運賃は値上げしたものの運転手の不足から仕事を全て受けることができず、車輛を空けてしまっている。  
●運輸(トラック)／労働時間削減対策として高速道路の利用は必要不可欠だが、高速道路料金に係る割引制度の二部廃止を含めた改正により、高速道路利用料金の負担が大幅に増加し経営を圧迫。

## オピニオン



富岳通運株式会社  
専務取締役 佐藤 正氏

### 山梨を拠点とした「総合物流業」を目指して

当社は昭和19年に設立、現在は総合物流事業を展開しています。総合物流事業とは単に輸送を行うだけでなく、商品や製品の受発注、倉庫での保管や在庫管理、物流加工、配送などを一括して請け負う事業です。当社は、総合物流事業を展開することで、顧客が商品開発や製造・販売に専念できる体制を提供することを目的に事業を行っています。

また、当社は人が関わる「衣・食・住」全ての物流に関してサービスを提供していきたいという考えから、業種を問わず百貨店や衣料品店、食品製造業、住宅設備業など、多岐にわたる業種の企業と取引をさせていただいています。

山梨県で設立し事業展開を行ってきた当社は、できるだけ沢山の人を雇うという雇用創出もひとつの社会的使命だと考えています。今後も新卒者や高齢者を含めて積極的に採用し、生き生きと働ける職場づくりを行っていきたく考えています。また、女性従業員も増えてきていることから、女性管理職の積極的登用も行っていきたいと思っています。

大手の製造工場の閉鎖により何百人単位の雇用が消えることが話題となりますが、県内の多くの中小企業が雇用面から地域社会を支えていることがもっと評価されて良いと思います。

物流拠点として見た場合、山梨という立地は大きな魅力を秘めています。甲府市を起点に半径約100km輸送時間90分の範囲には、東京、神奈川、埼玉、長野、静岡等の一部が含まれ、この地域の人口は約1,250万人にもなります。大手企業もこれだけの範囲をカバーできる物流拠点として、山梨県に注目しています。

最近では圏央道の延伸による相模原区間の開通があり、今後も中部横断道の静岡区間の開通などのインフラの整備が進むことで、物流圏はさらに拡大され、本県の魅力も大きく増すことでしょう。

この山梨の地を物流拠点として機能を高めていくことが本県の発展につながるものだと考え、当社もその一翼を担い貢献していきたいと考えています。

# 自社の決算書の見方が変わる！ 中小会計要領セミナー開催

ACTIVE KUMIAI

## 甲州市管工事 協同組合



講師の初鹿武仁税理士

9月3日、甲州市管工事協同組合（橋田和俊理事長）では、組合教育研修事業の環として、中央会から講師の派遣等の支援を受け、「中小企業会計啓発・普及セミナー」を開催した。平成24年度に、中小企業庁により「中小企業の会計に関する基本要領」（「中小会計要領」）が定められた。この要領は、事業者が解りやすく経営判断や改善に活かすことができ、資金調達の円滑化や取引の拡大を図るために金融機関や取引先の評価を得やすくすることを目的に定められたもの。

今回のセミナーは、この要領の内容を理解してもらいながら、経営者の会計や決算に対する理解と積極的な事業展開に取り組んでもらおうと企画された。

当日は初鹿武仁税理士を講師として、経営者自身が知っておかなければならない決算書のポイント、経営改善につながる売上予算や利益計画の立て方、現預金に余裕をもった経営を行うための資金繰り表の作成の重要性などについて学んだ。

参加した組合員からは、業種により特に注意すべき決算書上の数値や建設業界における「経営審査」を受ける上で有効な会計処理、金融機関による経営状況の注視箇所などについて積極的に質問があった。

橋田和俊理事長は、「決算書は単なる結果ではなく、経営を行う上で重要なヒントが秘められていることが理解できた。さらに企業の経営改善や体質強化に役立つ管理データの活用方法について学ぶことができ組合員企業の今後の経営に活かす研修となった。」と語っている。

中央会では、引き続き「中小会計要領」や「消費税対策」など各種出前研修を行っていますので、研修事業として利用したい組合がありましたら、お申し出ください。



組合員企業代表者・経理担当者が参加した

## TOPICS

## 峡北自動車整備 協業組合

# 経営課題解決に向けて 講習会を開催！

ACTIVE KUMIAI



講習会に参加した組合関係者

峡北自動車整備協業組合（末木基治理理事長）は8月29日、組合事務所において自動車分解整備に関する講習会を開催し、組合員や組合工場従事者など約20名が参加した。

講習会に先立ち、関東運輸局山梨運輸支局の木村陸運技術専門官より「業界では整備士の高齢化や若手整備士の減少から人手不足が顕著になっている。また、不正改造車に保安基準適合証を交付するなど法令違反事例があり、今度コンプライアンスを徹底してもらいたい。」との話があった。

自動車の安心・安全を維持するうえで、業界が担う社会的役割は大きく、今回の講習会でも同支局検査整備保安部門の志村首席陸運技術専門官より、自動車分解整備を行う際の留意点や根拠法に基づいた車検の手順、保安基準適合証の取り扱いが説明がされた。参加者は日常業務に関連した内容を受講でき、健全な車検整備を今後も維持していくうえで有益な講習会となった。

また、山梨県自動車整備商工組合の斉木専務理事から、「ユーザー自らが車検をする『ユーザー車検』を代行するだけで点検整備を行わないアウトサイダーの業者まで出てきており、自動車整備のプロとして点検整備の重要性について一層の周知を図る必要がある」との話があった。また、同組合の山下部部長からは、整備士の人手不足が喫緊の課題になる中で、継続的発展に必要な事業承継の相談及び支援についての情報提供がされた。

講習会を通じて、車検整備に伴う知識の習得だけでなく、組合員や工場従事者一人ひとりが法令順守についての理解や人手不足等の業界が抱える構造的な問題を認識し、業界の改善について考えるきっかけとなる内容となった。



講師の志村首席陸運技術専門官

講習会を通じて、車検整備に伴う知識の習得だけでなく、組合員や工場従事者一人ひとりが法令順守についての理解や人手不足等の業界が抱える構造的な問題を認識し、業界の改善について考えるきっかけとなる内容となった。

## TOPICS

## 協同組合 甲府市造園協会

# 良い会社を次代に引き継ぐ 事業承継を企業発展の機会に

ACTIVE KUMIAI



伊藤診断士によるわかりやすい講習

協同組合甲府市造園協会（清水文理事長）は、組合員の多くが今後世代交代を考えている中でスムーズな事業承継を行えるよう、8月27日に甲府市のぴゅあ総合で経営研修会を開催した。

研修会には、組合員16名が参加し、講師に中小企業診断士のITO中小企業経営研究所伊藤文仁氏を招き、「円滑に事業承継をすすめるためのポイント」のテーマで行われた。

研修は事前に組合員を対象に実施したアンケート調査の結果を参考に進められ、伊藤先生からは事業承継は単なる社長の交代ではなく、企業の経営資源（ヒト・モノ・カネ・システム）を後継者へ引き継ぐことなので会社の経営状況、経営資源、経営者の財産、後継者の資質などの現状把握を確実に行うことが必要である。事業承継計画を中長期の経営計画に盛り込む形で策定し、後継者候補を発表し中長期ビジョンや経営理念などについて社内浸透を図る。また、ステークホルダー（社内、取引先、業界他社、金融機関などの利害関係者）からの理解を得るとともに後継者教育、財産、負債の引継処理を計画し、課題解決を図ること。承継計画は、社長の健康寿命を考慮し、10年程度の期間が必要である。と取り組まなければならない事項について具体的に説明があった。

清水理事長は、「円滑な事業承継を機会に組合員の経営力が向上することは、業界の発展や組合の活性化にもつながる重要な課題だと感じた。組合では、組合員の経営力アップにつながる研修を継続して実施することが組合の重要な役割だと思う。」と語った。



熱心に聞き入る参加者

# TOPICS

## 一般社団法人 やまなし美味しい甲斐

### 開発商品の ピーアール事業に取り組み

ACTIVE KUMIAI



商談会の様子

一般社団法人やまなし美味しい甲斐(關本得郎理事長)では、山梨県内の農産物を利用して開発した商品の販路開拓と販売促進を山梨県からの委託事業として実施することに

なった。販路開拓事業の第一弾として、8月20、21日に東京ビッグサイトで開催された第9回「アグリフードEXPO 東京 2014」(主催:日本政策金融公庫)に出展した。出展者への商談件数は2日間で延べ30余社あり、今後の取引の進展が期待される。

同イベントは、国産にこだわった全国の農産物の展示商談会として定着している。全国各地で国産ブランドを担い魅力ある農産物づくりに取り組んでいる農業経営者や、地元産品を活用した多様なこだわり食品を製造する食品メーカーなどにバイヤーとの商談を通じて広域的な販路拡大の機会を提供することを目的に開催されたもので、全国から624社、「美味しい甲斐」からも会員7社が出展した。

「美味しい甲斐」では、県からの委託事業を活用し、インターネット販売を行うための専用サイトの構築と都内の大型商業施設に常設売場を確保する準備を現在進めている。また、会員が開発した商品のピーアールのために県内外の多くの催事や販売促進イベントへの出展も計画しており、1月には都内において単独の商談会の開催も計画している。

今回のアグリフードEXPOへの出展企業と主な出品品目は次のとおり。

- ① 傾くたもの厨房フコシシ/桃・葡萄のジャム
- ② 傾桑郷/毎日飲みたい桑の葉茶 桑のパウダー
- ③ 農業組合法人甲州地どり生産組合/甲州地どりのスモークソーセージ
- ④ 甲州天空かぼちゃ加工推進協議会/天空かぼちゃの自然甘味ペーストと甘酒
- ⑤ 傾佐藤農園/桃・葡萄のジャム
- ⑥ ハーフシヨップYOU/樹/ハーフジャムと飲料ルバー
- ⑦ BUDAWA甲州/葡萄の種類別ワインビネガー

# TOPICS

## 山梨県食品産業協議会

### 新執行部体制のもとで事業の 拡大と組織の強化を目指す

ACTIVE KUMIAI



就任の挨拶を行う  
武田信彦会長



退任の挨拶を行う  
長澤利久前会長

山梨県食品産業協議会(事務局:中央会の通常総会が8月27日に中央会研修室において開催され、平成25年度事業報告・収支決算、平成26年度事業計画・収支予算等が審議された。

また、役員の変更が行われ、平成18年より8年間会長を務めた長澤利久会長(山梨県精麦工業協同組合理事長)が退任、新たに武田信彦副会長(山梨県味噌醤油工業協同組合理事長)が会長に、北原兵庫前理事(山梨県酒造組合会長)が副会長に就任した。

総会終了後の研修会では、今年度より賛助会員となった厨房機器の販売会社であるホシザキ東京株式会社山梨支店(外山正支店長)の親会社の業務用厨房機器メーカーであるホシザキ電機株式会社(石渡幸則営業本部長)が「食品加工における衛生管理への取り組み」と題する講演が行われた。講演では、これまで食品加工の現場において使用されてきた次亜塩素酸ソーダに替わって、安全で殺菌効果が高い強酸性電解水による消毒方法について、その利用方法、利用分野と今後の展開について説明され、食中毒防止、食材の下処理において効果的であるため、各事業者への導入が期待される。

当協議会の発足当時は農林水産省からの事業費の補助があったが、補助金がカットされ自己財源による活動となつてからは、会員数が減少し、事業が縮小傾向にあった。

今年度は、毎年会員企業が出展している「こだわり食品フェア」への出展企業に対する補助金額をアップすることが決議され、ブース数の増加や飾り付けの工夫を行うことにより、会の存在感を高め、活動内容をPRすることにより、当面は賛助会員の増強を中心に企業会員の増強を行っていく。



熱心に話を聞く研修会参加者

## お知らせ

### 生涯現役社会実現環境整備事業

# 年金受給と退職後の生活を充実させるためのセミナー



中央会では、高齢者が健康で意欲と能力がある限り年齢に関わりなく働き続けることができるよう、生涯現役社会の実現に向けた高齢者の環境整備を図ることを目的に、「生涯現役社会実現環境整備事業」(山梨労働局委託事業)を実施しています。

公的年金の支給開始年齢が徐々に引き上げられる中で無年金・無収入の期間がでないよう平成25年4月に改正高齢者雇用安定法が施行され、希望者全員を65歳まで雇用することが義務づけられました。この事業では、年金の支給と退職後の生活を充実したものにするために定年前からどのような準備をしたらよいのかなど、高齢者向けの職業生活設計セミナーを開催しています。

これまで2回開いたセミナーでは、雨宮隆浩社会保険労務士が講師となり「生涯現役のための生活設計づくり」をテーマに実施、いずれの回も申込者が多くキャンセル待ちが出るなど、中高年の方の関心の高さが伺えました。また、参加者からは「生涯現役で働き続けるためには、健康であること、働く意欲を持ち続けること、やる気がなければダメである」等の意見が出され大変好評でした。

なお、今後のセミナー(無料)は次のとおり開催しますので、奮ってご参加下さい。

**10月21日(火)**  
富士吉田市民会館  
3階 会議室1

**11月20日(木)**  
甲府市総合市民会館  
3階 会議室4

セミナーは、午後1時30分~午後3時まで。終了後、個別相談会(無料)も実施します。

●詳しいことは、中央会労働対策課までご連絡下さい。

# 経営者に聞きました!

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営実態や求めている人材等について直接聞き取ることで、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消することを目的としております。

## 学生企業レポート 第26回

▶第26回目となる今回は、大月短期大学 経済科 1年 芦澤美咲さんが、有限会社 勝栄 中村農場 専務取締役 中村由紀子氏 を取材しました。



経営者

有限会社 勝栄 中村農場  
専務取締役  
中村 由紀子 氏

### 『挑戦!そして成長!』

学生

大月短期大学  
経済科  
1年 芦澤 美咲 さん



▶学生 会社概要と事業内容についてお聞かせください。

▶経営者

結婚をきっかけに主人と起業を思い立ち、野菜の直売所やペットショップなどを経て平成10年に設立しました。当初は養鶏は考えていませんでしたが、ペットを飼い始めた中に鶏がいて、最初は名古屋コーチンを飼いたいと思いついた畜産試験場に相談をしました。そこで山梨県の「甲州地鶏」という鶏の飼育の提案を受けたことから、肉や卵をメインとした養鶏をスタートさせました。現在は、鶏を使った売店や飲食店も経営しています。

弊社の養鶏は、生産性を重視していかに生産コストを低く抑えるかではなく、いかに美味しいものを作るかという考えで行っています。

生き物は環境によって育ち方が変化してしまうので、季節にあわせて餌などを変えて常に同じ品質のものをお客様に提供できるよう、プロとして最善を目指し日々試行錯誤しています。

▶学生 御社が求める人物像をお聞かせください。

▶経営者

売店や飲食店としての接客業ですので、素直で明るく、チームワークを重視し、どんなことにも挑戦するような人材を求めています。また、やりたいことはどんどん挑戦させてあげられる環境も整っていますので、企画力があり実行できる人にはとても良い職場だと思います。

これからの農業を考えた場合に、消費者の求めるものを察知できる力や常にお客様のことを考えながら良いものを生産・販売できる人材になってもらいたいと思います。社内でも常に「サービス業」であることを心がけるよう全スタッフに声

をかけています。

今の学生は、漢字や算数といった一般的な基本知識や挨拶など生きていくための基本的なことが欠けている方が多い気がするので、社会人としての基本を身に付けることも努力してもらいたいと思います。

▶学生 会社を経営する中で、女性としての苦勞はありますか?

▶経営者

弊社は社長が生産部門を担当し、売店や飲食などの管理は私が行っています。男性と女性の良い面を生かし合って経営することが大事だと考えています。

女性特有の感情的な面を抑えてきめ細やかさを持ってスタッフ一人一人に合わせた指導をすることが大事だと気づきました。また、あまり母性的にならず仕事として割り切るといった面も重要だと感じています。

男女では思考回路が違うので、男性スタッフに指示を出す場合にも、女性スタッフに対する言い方を変えともしっかり伝わるのだと最近はとても感じています。

#### 取材を終えて...

自分が企業の経営者に取材をするとは考えていなかったために非常に緊張しましたが、同時に貴重な体験ができ、来年度に控えた就職活動を乗り切るための力となりました。この取材を通して、将来どの企業に就職するにしても基本的な知識と多様な経験、そして度胸が必要だと強く感じました。

このような機会を設けてくださった中央会の方々、お忙しいにも関わらず時間を割いてくださった中村農場の中村専務様、本当にありがとうございました。今回の経験を生かして、現在の激しい就活の波に吞まれないよう頑張っていきます。



▶第27回目となる今回は、山梨県立産業技術短期大学 電子技術科 1年 常葉健太さんが、昭和産業 株式会社 代表取締役社長 岩下和彦氏 を取材しました。



経営者

昭和産業 株式会社  
代表取締役社長  
岩下 和彦 氏

### 社会のニーズをくむ コミュニケーション能力を養おう

学生

山梨県立産業技術短期大学  
生産技術科  
1年 常葉 健太 さん



▶学生 放送通信機器の製造をされていると伺いました。事業内容を詳しくお聞かせください。

▶経営者

当社は創業50周年になります。これまで、放送局向けにスタジオや送信所の放送通信機器、遠隔監視制御装置などを設計・製造してきました。現在は、放送通信機器の製造で培ったノウハウをもとに、①半導体製造装置などの産業機械の組立や現地据え付けといった製造サービス ②回路設計・基板実装組み立て ③放送通信機器の設計・製造の3つの事業を柱としています。

▶学生 中小企業の良いところはありますか?

▶経営者

社員一人ひとりの可能性が大きいことです。大企業では業務が細かく分けられていますが、中小企業の社員は様々な業務をすることが出来ます。社長に直接、新しい事業や製品を提案することも出来ます。そうすれば『言いだしっぺ責任』です。発案者がリーダーシップをとることになります。良い製品ができれば大手企業と勝負することも出来ます。

▶学生 将来、電子系の製造職に就きたいと思いますが、学生時代にどのような勉強をしたらよいでしょうか?

▶経営者

弊社には、学生時代に電気・電子の専門分野について学んだことがない社員もたくさんいます。そうした社員も「はんだごて」を手に入れています。とはいえ、弊社の仕事では社

会やお客さまのニーズにあった製品を設計・製造するためにどのような仕様が必要かを考えて形にしなければなりません。回路設計や計算、ときには調査や実験をする必要があり、そのような時に学生時代に学ぶ電気・電子の専門的な知識・技術が役に立ちます。

学校の授業で与えられた課題に取り組むだけでなく、自ら興味を持って新しいことにチャレンジしていくことが大切だと思います。主体的に挑戦することで、新しい知識や技術を身に付けることに繋がると感じています。

▶学生 求める人材について教えてください。

▶経営者

明るく挨拶ができ、まじめに仕事に取り組む姿勢の他にコミュニケーション能力を備えた人材を求めます。弊社の仕事では、お客様との会話からその意図を汲みとって仕様に反映して製品にしなければなりません。相手のニーズを知ってこそ、優れた技術力が生かれます。コミュニケーションが苦手な人は、友人や家族と身近なで

#### 取材を終えて...

インタビューを通して、「お客様の意図を正しく理解する力」や「学生の時に何かをやり抜く経験をしている」といった人材が求められていることを知りました。また、他人の敷いたレールではなく自分で敷いたレールで挑戦していくことの大切さと大変さを教えていただきました。

今まで何気なく過ごしていた時間をこれからは「何をしたいのか」、「何を目標にしているのか」を意識しながら生活していこうと思いました。経営者の方にインタビューをするという貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。



## 学生企業レポート 第27回

# 学生企業レポート 第28回

▶第28回目となる今回は、山梨県立大学 国際政策学部 総合政策学科 3年 名取春之介さんが、生活協同組合 パルシステム山梨 理事長 白川恵子氏 を取材しました。



経営者

生活協同組合 パルシステム山梨  
理事長  
白川 恵子 氏

## 組合員と生きる

学生

山梨県立大学  
国際政策学部 総合政策学科  
3年 名取 春之介 さん



▶学生 事業内容についてお聞かせください。

▶経営者

パルシステムは前身の生協から数えて2012年に50周年を迎えました。現在は「心豊かな暮らしと共生の社会をつくる」というグループ理念のもと、様々な事業や運動を地域で展開しています。

生協の「事業」とは、事業そのものが組合員や地域のくらしに貢献していかなければなりません。また、営利を目的とせず、様々な地域の課題を担っていくことだと思っています。

現在、発展途上国の貧困問題、地球温暖化やゴミ問題等の環境問題など、私たちが直面している課題が山積しています。その全部を解決に導くことは難しいですが、それらを組合員や地域住民と一緒に生協が持つ共同の力で解決を図っていくのがパルシステムの「事業(運動)」です。「事業」と「運動」は相反するものようですが、目的は一緒です。

▶学生 日本の農業が全体的に疲弊していることについてどのように考えていますか？

▶経営者

確かに、日本の農業は厳しい状況にあると思います。その中でも私たちは一部ではありますが、県内産地の支援をしています。パルシステムでは、有機農家や減農薬に取り組んでいる産地にスポットをあて、独自の基準を設けて生産物の取引を行っています。そのため、スーパーで買う

青果物よりも高値かもしれませんが、その生産に見合った対価をお支払してもらうことを心掛けています。また、パルシステムが提供する商品は「安心」だけが売りではありません。私たちは生産者と契約に基づいて取引を行っているため、市場の変動に左右されることなく、組合員へ安定した供給を行うことができます。

▶学生 パルシステム山梨が学生に求める人物像は？

▶経営者

私たちが学生と面接をする際に注目していることは二つあります。

一つは「人柄」です。面接の際に学生に突拍子もない質問をします。そこで注目するのは、それが正しい答えかどうかではなく、どんな質問にも誠実に答えようという意識があるかどうかです。入社し研修を終えて一番に行うことは配達の仕事です。配達は組合員のことを知るために最も重要な仕事だと思っています。まず、配達を担当する職員は組合員と最も距離が近いことから、パルシステムの顔として誠実な人柄が大切です。

もう一つは「本気度」です。学生にはよくパルシステムの何を知っていて、どんなところに興味があって応募したのかを聞いています。中には何十社も受けている方もいれば、その場の流暢な会話ができる方もいます。しかし、どんな人が来てても、面接だけではわからない部分があります。だから数多くの学生から、入社してほしい人材を選ぶときには「人柄」と「本気度」をみて、一人の人間としてふさわしいかどうかを判断するようにしています。

▶学生 入社後に行う研修内容を教えてください？

▶経営者

配達の仕事から入るので、教習所で2tトラックの技能研修を行います。また東京都のパルシステムの本部で生協の歴史や役割などを勉強をする他、産地研修もあります。他の生協ではしていない取り組みとして、北杜市にある無農薬無化学肥料野菜を生産する農場で2〜3週間の農作業を体験してもらいます。また秋田県の大湯村でも、田植えから収穫まで行いながら勉強します。

取材を終えて…

経営の話とは別に就職についての質問もさせていただきました。私は今まで就職活動をする際、何を基準にして仕事を選べばいいのか迷っていました。このことについて白川理事長は「やりたいことを優先的に」ということをアドバイスしてくれました。自らの体験に基づいた話だったので、とても説得力があり、自分の納得する答えが見つかりました。今回は貴重な時間をいただき、本当にありがとうございました。



# 学生企業レポート 第29回

▶第29回目となる今回は、大月短期大学 経済科 1年 片桐このみさんが、株式会社 富士急ハイランド 取締役社長 高部久夫氏 を取材しました。



経営者

株式会社 富士急ハイランド  
取締役社長  
高部 久夫 氏

## 『世界に拓く アミューズメントパーク』

学生

大月短期大学  
経済科  
1年 片桐 このみ さん



▶学生 会社概要と事業内容について教えてください。

▶経営者

昭和36年に「富士五湖国際スケートセンター」がオープンしました。その頃は、富士急行株式会社が直接富士急ハイランドを運営していましたが、昭和41年のジャイアントコースターの登場を期に、その他施設と併せ昭和44年に株式会社富士急ハイランドとしてグランドオープンしました。弊社の事業内容は、お客様の受け入れや営業など遊園地の施設運営を行っています。

「富士を世界に拓く」という創業精神を基礎に、グループの経営理念である「夢、喜び、快適、やすらぎ、感動」をもとに、お客様が楽しんで明日からも頑張ろうと思ってもらえるような運営を心がけています。

弊社はFUJIYAMAや高飛車などの絶叫系アトラクションが主流ですが、今年は富士山が世界遺産に認定されたので、絶景マシン「富士飛行社」を立ち上げ、様々な層のお客様に喜んでもらえるよう力を入れています。

▶学生 御社が求める人材を教えてください。

▶経営者

「自分で考える力のある人」「自己啓発力のある人」です。様々な知識を持った人が入社してきますが、考える力のある人を求めます。また、最近はアジアやヨーロッパなど海外からのお客様が増えてきており、弊社もグロー

バル化のために、英語だけでなく中国語などの第二外国語ができる人も求めています。

▶学生 企業におけるスクラップアンドビルドの取り組みについて教えてください。

▶経営者

成功体験のまま止まってしまうとその時点で後退だと思っています。従業員には「現状はすでに過去なのだから次のことを考えなければいけない。一つでもよいから日々何かを変えることが大切で、チャレンジして行かないと現状のままでは次は負けてしまう。」と伝え、常に従業員と一緒に変革に取り組んでいます。

▶学生 社長ご自身が大事にされていること、学生に伝えたいことは何でしょうか。

▶経営者

人間というのは、「人の間」と書くように人間関係が深

くかかっています。職員にお願いしているのは「挨拶」です。挨拶は先に気づいた方がすることが大事で、たとえ背中を向けて聞こえていなくても、自分から挨拶をして、相手の見返りは求めない。相手が返さないから、自分も挨拶をしないと人間関係は崩れてしまいます。お互いに挨拶をしようということを大事にしています。

最近の若者の中には、友人と一緒にいてもスマートフォンを見つめている人が沢山見受けられます。人生の先輩から言わせていただくと、人に対する人間力(対人力)が弱まっているのではないのでしょうか。これまでなら学生の時に培われていた対人能力が、今は損なわれているのではないかと感じています。

また、行動の中に「誠実さ」「真」があるかどうかです。例えば、怒る・教えるなどの行動する時に、その中に誠実さを含めることが大事であり、上司だから、目上の人だからではなく、お互いに誠実さを持って接することが大切だと思っています。

取材を終えて…

企業のトップの方と話しをするのは初めてだったので、とても緊張しました。緊張しすぎてうまくインタビューすることができませんでした。しかし、高部社長はにこやかに楽しく話を進めてくださり、大変助かりました。日本でも有数のテーマパークの運営を任されている方だけあり、従業員との関わり方や人生経験談など貴重な話を伺うことができ感激しました。今後の就職活動に生かせることを教えていただけて、本当に良かったと思います。私も誠実さを大事に生活していきたいと思いました。本当にありがとうございました。





見守り、  
見守られ。

いつも車窓から見える富士山は、実に変化に富んだ表情を見せてくれる。時に優しく、時に厳しく、威厳に満ちた姿に私たちは励まされ、勇気をもらっている。

私たちの仕事は物を運ぶこと。国内物流の9割以上を担うトラック運送は、毎日休むことなく国内全域を覆い、世を支えている。

物流のプロとして、アイドリングストップ運動など、富士山をはじめとする美しい自然環境を将来に残すことに真剣に取り組んでいる。

必要とされている物を、必要とされている場所に、安全に確実に届くように見守っていく。雄大な富士山に見守られながら。

エコ運転 富士と一緒に 我らの遺産  
平成25年度環境標榜最優秀作品  
©(一社)山梨県トラック協会・(公社)全日本トラック協会・後援/山梨県 関東運輸局山梨運輸支局

# インターンシップ 体験記

中央会では県内大学生を対象にインターンシップ生を受け入れています。中央会のインターンシップ事業では、県内大学生に県内の中小企業や協同組合などの事業や活動を理解してもらうことを目的に実施しています。今回は、学生からのインターンシップの感想と印象に残った企業の紹介します。



## ●山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科 3年 古屋 雄大

私は観光関係の仕事に興味をもっていましたので、勝沼町の「ぶどうばたけ」の普段聞くことができない貴重なお話をさせていただき勉強になりました。

このインターンシップを通して私は2つのことを学びました。

1つ目は、企業とは顧客のニーズに適応して運営する必要があるということです。「ぶどうばたけ」では、ぶどうの栽培や販売のほかにも、お客様の要望に応じて自社のぶどうを使った商品の製造・販売にも取り組み始めたということでした。これは現在注目されている6次産業化の

はしりともなるもので、現在の企業の活性化とお客様との深い信用にも繋がっているのだとわかりました。

2つ目に働くことについてです。経営者の方からは仕事に対する大変さと同時にやりがいと楽しさを持っていることを実感しました。今まで働くことに漠然としたイメージしか持っていなかった私にとって、今回のインターンシップは仕事や社会人の心構えについて考える良い機会になりました。

このインターンシップを通して様々なことを教えていただき、有意義なものになりました。この貴重な体験を今後の大学生活や社会人になった時に生かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

## ●山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科 2年 北村 侑香

私はインターンシップで日本ネットワークサービス(甲府CATV)に企業訪問に行きました。高校時代に放送部に所属していたことから、放送の業界に興味があり、とても楽しみでした。

高校時代はたった8分のドラマやドキュメントを制作するのに、10人掛かりで4ヶ月ほどかけていました。日本ネットワークサービスでは、撮影・編集・声入れまで1人で、しかも、撮影から放送までが1日だけしか無いこともあると聞き、とても驚きました。

テレビ放送は「撮影し編集して放送する」というイメージを持っていましたが、実際には、契約してくれる家庭を見つける営業の仕事や、機械の管理や工事を担当する技術部の仕事があることを知り、様々な人がそれぞれに助け合うことで企業が成り立っていると感じました。自分の興味のあることだけ好きなことだけを仕事にするのは難しいのだと知ることができました。

今回のインターンシップを通して、私には、社会で働く「責任感」と「積極性」が足りなかったと実感しました。今後、社会に出て行く前にしっかりと身につけたいと思います。

最後に、インターンシップを受け入れていただいた中央会のみなさん、見学にご協力いただいた企業のみなさん、本当にありがとうございました。

## ●山梨英和大学 人間文化学部 人間文化学科 3年 有賀 涼太

私はインターンシップで自動車販売会社であるホンダカーズ山梨と車検や車の整備などを行っている峡北自動車整備協業組合に伺いました。

ホンダカーズでは、「ホンダが販売しているクルマはつながりのある中小企業の方々を含むたくさんの人たちが協力をして作っていて、その集大成ともいえるクルマを我々は安心して販売することができる。」と話されていました。

峡北自動車整備協業組合では、一つの部品が違ったり不足するだけでクルマは動かなくなってしまうこと、クルマは日々進化していることを知りました。

そして、「作る」だけでなく「整備する」という仕事があるからこそ車社会が成り立ち、私たちが安全に車に乗れるということを実感し、ホンダが「車を安心して販売することが出来る」と言った意味も分かりました。

私は元々クルマ好きでしたが、今回のインターンシップでクルマを取り巻く様々な職種に興味を持つことができ、就職活動の際にこの経験を活かしていきたいと思いました。

Yamanashi Chuo Bank **山梨中銀**  
**街並みづくり応援ローン**

看板を新しくしたい! シャッターを新しくしたい!  
店舗の外装、内装にかかる設備資金ニーズにご利用いただけます。

クロスを張り替えたい! テーブルを新しくしたい!

山梨中央銀行は、商店街や地域経済の活性化に関する取り組みを応援いたします。ぜひお気軽にご相談ください。

※上記の設備資金ニーズは一例です。本ローンのお使いみちにつきましてはお気軽にご相談ください。

ご利用いただける方	次のいずれかに該当する法人および個人事業主のみなさま 1. 1年以上、小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方 2. 小売業または飲食・サービス業を営んでいる事業者の方に、店舗等を賃貸している(または賃貸する予定である)物件所有者の方																	
お使いみち	以下に該当する設備資金にお使いいただけます。 1. 店舗等の看板、シャッター、外壁塗装等の外装費用 2. クロス張替え、床板張替え等の内装費用																	
ご融資金額	無担保扱い: 500万円以内 有担保扱い: 1,500万円以内																	
ご融資期間	10年以内(据置期間はございません。)																	
ご融資利率	当行所定の変動金利を適用いたします。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">期 間</th> <th colspan="2">利 率 (平成26年4月1日現在)</th> </tr> <tr> <th>有担保扱い</th> <th>無担保扱い</th> </tr> <tr> <td>1年以内</td> <td>1.300%</td> <td>2.000%</td> </tr> <tr> <td>1年超 3年以内</td> <td>1.800%</td> <td>2.500%</td> </tr> <tr> <td>3年超 5年以内</td> <td>1.900%</td> <td>2.600%</td> </tr> <tr> <td>5年超10年以内</td> <td>2.100%</td> <td>2.800%</td> </tr> </table>	期 間	利 率 (平成26年4月1日現在)		有担保扱い	無担保扱い	1年以内	1.300%	2.000%	1年超 3年以内	1.800%	2.500%	3年超 5年以内	1.900%	2.600%	5年超10年以内	2.100%	2.800%
期 間	利 率 (平成26年4月1日現在)																	
	有担保扱い	無担保扱い																
1年以内	1.300%	2.000%																
1年超 3年以内	1.800%	2.500%																
3年超 5年以内	1.900%	2.600%																
5年超10年以内	2.100%	2.800%																
ご返済方法	元金均等返済																	
担保	個別にご相談させていただきます。																	
保証人	法人:代表者 個人:不要																	
保証料	信用保証協会をご利用の場合は、別途保証料が必要となります。																	

○くわしくは山梨中央銀行の窓口またはフリーダイヤルへどうぞ。 <http://www.yamanashibank.co.jp/>  
☎0120-201862(離会コード9)  
受付時間 月曜日~金曜日 9:00~17:00 (ただし、祝日・12/31~1/3は除きます) 平成26年4月1日現在

## 面接会参加企業募集中

山梨県シルバー人材センター連合会では山梨労働局より委託を受けてシニアワークプログラム地域事業を実施し、55歳以上の高齢者の就職・就業支援をしています。

### 合同面接会

- 平成26年10月30日(木)
- 昭和町「アピオ甲府」13:30~

- ▶警備会社
- ▶造園関係
- ▶農業関係
- ▶清掃、調理補助関係

面接会参加企業を募集しています。詳しくは下記までお問合せ下さい。

公益社団法人  
**山梨県シルバー人材センター連合会**  
〒400-0355 甲府市飯田3丁目3-28  
Tel.055-228-8383

## 平成26年度「企業ワークショップ」のご案内

- 開催日時 平成26年10月28日(火) 13:15~16:15(予定)
- 会 場 山梨職業訓練支援センター(ポリテクセンター山梨) (甲府市中小河原町403-1)
- 募集定員 30名(先着順) ※要事前申込、受講料無料
- 申込期限 平成26年10月21日(火) ※郵送又はFAX

※申込書のダウンロード及び詳細は <http://www.jeed.or.jp/location/ks/yamanashi/19.yamanashi.html> まで

問い合わせ先 山梨高齢・障害者雇用支援センター (山梨障害者職業センター 雇用支援課) Tel.055-236-3163

## 編集後記

10月になりました。皆さんにとって、秋はどんな季節でしょうか?食欲の秋というフレーズに負けてしまうこともあります。秋は過ごしやすく体を動かしやすい季節です。体を動かすスポーツの秋も、旬の食材がおいしくなる実りの秋もどちらも楽しみたいですね。

## 情報BOX

### 中央会行事予定

1 **第18回 郡内地域組合交流会**  
日 時▶平成26年10月29日(水) 14:00~  
場 所▶ハイランドリゾートホテル (富士吉田市新西原5-6-1)

2 **2014(第18回)中小企業団体新春交流会**  
日 時▶平成27年1月9日(金) 16:00~18:00  
場 所▶セレス甲府 (中巨摩郡昭和町西条3600)

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで

TEL 055-237-3215  
FAX 055-237-3216  
E-mail  
webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp